

はしがき

本書は、京都大学農学研究科／農学部における自己点検・評価の一環として平成16年度の教育・研究の概要を取りまとめたものです。本年度の農学研究科／農学部は、昨年度に「ワールド科学教育センター」に統合された附属演習林・水産実験所・亜熱帯植物実験所を除き、7専攻（農学専攻、森林科学専攻、応用生命科学専攻、応用生物科学専攻、地域環境科学専攻、生物資源経済学専攻、食品生物科学専攻）／6学科（資源生物科学科、応用生命科学科、地域環境工学科、食料・環境経済学科、森林科学科、食品生物科学科）、及び、附属農場・牧場から構成されています。平成16年度は、国立大学の独立法人化に向けて農学研究科／農学部においても中期目標を立て、その達成にむけて一步を踏み出した年度であります。各種委員会では、アドミッションポリシーの策定、授業評価の実施、ホームページの整備、衛生管理者の任命、など新たな取組みが実行に移されました。本年度末には、本館北側に農学研究科・生命科学研究科の新棟が建設されました。また、平成17年度から始まるPFI（民間資金活用）事業による農学部本館の全面改装に向けた準備で、構成員一同慌しく過ごした一年でありました。この年報を通じて、本年度における教育・研究の成果をお読み取りいただき、独立法人化に向けた教育・研究の目的達成の一助として頂ければ幸甚に存じます。

本年報は、農学研究科／農学部の自己点検・評価委員会のご尽力、構成員全員のご協力により刊行されたものです。ここに感謝の意を表する次第であります。

平成17年12月

京都大学農学研究科／農学部

自己点検・評価委員会「年報編集専門委員会」

委員長 遠藤 隆